

果樹カメムシ類による果実被害が多くなるおそれ ～果樹での防除対策を徹底してください～

1. 病虫害名：果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ）
2. 発生作物：りんご、なし、もも、おうとう、うめ
3. 発生地域：全県
4. 発生量：多い
5. 注意報発表の根拠（現在までの発生状況と今後の発生予想）
 - （1）りんご防除適期決定ほ（4 地点）のチャバネアオカメムシフェロモントラップにおける 6 月 1～3 半旬の果樹カメムシ類の誘殺数の合計は509頭（平年103.3頭）で多かった（表－1）。
 - （2）なし防除適期決定ほ（3 地点）のチャバネアオカメムシフェロモントラップにおける 6 月 1～3 半旬の果樹カメムシ類の誘殺数の合計は209頭（平年92.5頭）で多かった（表－2）。
 - （3）予察灯調査（6 地点）において、5 地点でチャバネアオカメムシとクサギカメムシの誘殺が確認され、6 月 1～16日の誘殺数の合計は67頭（平年1.2頭）で多かった（表－3）。
 - （4）6 月中旬の巡回調査や予察ほにおいて、りんごとなしの園地でチャバネアオカメムシ（図－1）とクサギカメムシ（図－2）の飛来や果実被害（図－3）、果樹カメムシ類の孵化幼虫（図－4、5）や卵（図－6）が確認された。
 - （5）6 月19日に仙台管区气象台から発表された東北地方 1 か月予報によると、向こう 1 か月の気温は高いと予報されている。
 - （6）以上のことから、今後、りんご、なし、もも、おうとう、うめの園地において果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ）の飛来数が多くなり、果実被害が多くなると予想されるため、以下の防除対策を徹底する。
また、他の果樹についても果樹カメムシ類による被害が多くなることが予想されるため、十分に注意する。
6. 防除対策
 - （1）園地への果樹カメムシ類の飛来数は地域による差が大きいため、飛来状況をよく観察する。特に山間部や山林に隣接する園地では注意する。
 - （2）成虫や孵化幼虫、卵は見つけ次第、捕殺する。
 - （3）成虫が次々に飛来し、果実被害が懸念される場合には、各樹種ごとに表－4～8 に示す薬剤で直ちに防除を実施する。
 - （4）果樹カメムシ類の園地への飛来が長期にわたる場合は、薬剤を10日間隔で 2～3 回連続散布する。
 - （5）ピレスロイド系剤（RACコード：3A）は、多発時の防除に適するが、天敵類に影響を及ぼし、ハダニ類などの多発を引き起こすおそれがあるので、連用しない。

7. 資料

表－1 りんご防除適期決定ほ(4地点)のチャバネアオカメムシフェロモントラップにおける果樹カメムシ類の誘殺数(頭)(6月1～3半旬)

	大館市	由利本荘市	美郷町	横手市	合計
本年	40	79	300	90	509
平年	10.5	7.6	45.5	39.7	103.3
概評	多	多	多	多	多

表－2 なし防除適期決定ほ(3地点)のチャバネアオカメムシフェロモントラップにおける果樹カメムシ類の誘殺数(頭)(6月1～3半旬)

	大館市	三種町	男鹿市	合計
本年	174	26	9	209
平年	53.3	5.5	33.7	92.5
概評	多	多	やや少	多

表－3 予察灯調査における果樹カメムシ類の誘殺数(頭)(6月1～16日)

	北秋田市	五城目町	秋田市	由利本荘市	大仙市	湯沢市	合計
本年	9	8	12	26	12	0	67
平年	0.2	0	0.3	0	0.3	0.4	1.2
概評	多	多	多	多	多	やや少	多



図－1 チャバネアオカメムシ
成虫



図－2 クサギカメムシ
成虫



図－3 果汁が漏出した被害幼果
(赤枠部)



図－4 チャバネアオカメムシ
孵化幼虫



図－5 クサギカメムシ
孵化幼虫



図－6 チャバネアオカメムシ
卵

表－4 りんごのカメムシ類防除薬剤一覧

RACコード	農薬名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	各成分の総使用回数
3A	イカズチWDG	1,500倍	収穫前日まで	2	2
	バイスロイドEW	2,000倍	収穫7日前まで	4	4
	ロディー水和剤	1,000倍	収穫前日まで	2	ア
4A	アクタラ顆粒水溶剤	2,000倍	収穫7日前まで	2	2
	アルバリン顆粒水溶剤	2,000倍	収穫前日まで	3	イ
	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	収穫前日まで	3	イ
	ダントツ水溶剤	2,000倍	収穫前日まで	3	3

ア：フェンプロパトリン(7回以内(噴射は5回以内、散布は2回以内)) イ：ジノテフラン(3回以内)

表－5 なしのカメムシ類防除薬剤一覧

RACコード	農薬名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	各成分の総使用回数
3A	アグロスリン水和剤	1,000倍	収穫前日まで	3	3
	サイハロン水和剤	2,000倍	収穫7日前まで	3	3
	テルスター水和剤	1,000倍	収穫前日まで	2	2
	マブリック水和剤20	2,000倍	収穫30日前まで	2	2
3A・1B	パーマチオン水和剤	1,000倍	収穫30日前まで	5	アイ
4A	アクタラ顆粒水溶剤	2,000倍	収穫前日まで	3	3
	アドマイヤー顆粒水和剤	10,000倍	収穫3日前まで	2	2
	アルバリン顆粒水溶剤	2,000倍	収穫前日まで	3	ウ
	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	収穫前日まで	3	ウ
	ダントツ水溶剤	2,000倍	収穫前日まで	3	3
	バリアード顆粒水和剤	2,000倍	収穫前日まで	3	3

ア：MEP(6回以内) イ：フェンバレーレート(5回以内) ウ：ジノテフラン(3回以内)

表－6 もものカメムシ類防除薬剤一覧

RACコード	農薬名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	各成分の総使用回数
3A	アグロスリン水和剤	2,000倍	収穫前日まで	5	5
	テルスター水和剤	1,000倍	収穫14日前まで	2	2
4A	アクタラ顆粒水溶剤	2,000倍	収穫前日まで	3	3
	アルバリン顆粒水溶剤	2,000倍	収穫前日まで	3	ア
	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	収穫前日まで	3	ア
	ダントツ水溶剤	2,000倍	収穫7日前まで	3	3

ア：ジノテフラン(3回以内)

表－7 おうとうのカメムシ類防除薬剤一覧

RACコード	農薬名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	各成分の総使用回数
4A	アルバリン顆粒水溶剤	2,000倍	収穫前日まで	2	ア
	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	収穫前日まで	2	ア
	ダントツ水溶剤	2,000倍	収穫前日まで	2	2

ア：ジノテフラン(2回以内)

表－8 うめのカメムシ類防除薬剤一覧

RACコード	農薬名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	各成分の総使用回数
4A	アルバリン顆粒水溶剤 ^{*1}	2,000倍	収穫前日まで	3	ア
	スタークル顆粒水溶剤 ^{*1}	2,000倍	収穫前日まで	3	ア

ア：ジノテフラン(3回以内)

*1：作物名「小粒核果類」での登録

【 問合せ先 】

秋田県病害虫防除所	TEL	018-881-3660
秋田県果樹試験場	TEL	0182-25-4224
かづの果樹センター	TEL	0186-25-3231
天王分場チーム	TEL	018-878-2251
掲載HP https://www.pref.akita.lg.jp/bojo/		